



冀北の天地

きほく

綱領
質実剛健
自洛協同
能率増進

No. 08

2022.11.22 発行

郷土料理作りに挑戦

10月28日(金)

外務省高校講座

11月10日(金)

外務省大臣官房在外公館課から、現地職員管理官・小山裕基氏を講師に迎え、「外務省の仕事」国際協力「の現場から」という内容で講演をいただきました。

アメリカ、アジア、ヨーロッパ、アフリカと全世界を飛び回って現地の方々と関わりあう外務省の外交官としての仕事について、スライドを使っているいろいろな話を聞くことができました。それぞれの国の文化や人々を理解すること、国際協力の意義などを学ぶことができました。講演後の質疑応答も大いに盛り上がりました。



▲世界中の国々を飛び回る小山氏の講話やスライドに生徒は興味津々でした。まだ行ったことのない異国の地に思いを馳せた生徒もいました。

質疑応答では、生徒や教職員からの質問が飛び交いました。自身の経験を踏まえて答える小山さん、会場はさらに盛り上がりました。▼



3学年 年金セミナー

11月2日(水)

青森年金事務所の講師の方から資料や動画で説明していただき、

生徒たちからは「年金に対して理解が進んだ」「年金の大切さを実感した」などの感想がありました。



1学年 職業人講話 11月4日(金)

仕事に就いたきっかけや楽しさなどを聞くことで、就職に対する興味や関心を深める為、野辺地町商工会青年部3名の方を講師に招き、講話をいただきました。働く上での大変さややりがいなどを聞いたたり、講師からのエールなどで、生徒は就職への意識を高めることができました。



▲分科会は自分の興味のある職種の講話を聴きました。

3学年「フードデザイン」の調理実習で、町名産のカワラケツメイを使った「茶がゆ」など4品目の料理を作りました。講師に町商工会婦人部の方を招き、手ほどきを受けました。



▲調理実習を通して、生徒たちは地域食材や郷土料理に関心を持ちました。

「野高の秋」を見つけました。

秋が深まり、本校の校舎内も紅葉がとても綺麗に色付きました。3学年の理科の授業では、校内フィールドワークとして落ち葉を集めて標本づくりをしたり、落ち葉が色付く仕組みを学んでいくことで、学びの秋を堪能していました。



▲校舎前から撮影。赤と黄色のコントラストに見入ってしまいます。



▲生徒お手製の落ち葉の標本は色や形の変化も感じ取ることができます。

学校に関して、質問等ありましたら

野辺地高等学校

(0175) 64・2266

教頭 横濱(よこはま) までご連絡ください

